

『豆ちがい、皮ちがい!』 4歳児 5月 伏見こども園

エピソード

園庭にカラスノエンドウがなっていること知り、たくさんある場所を探したり、見つけたりして遊んでいました。Aくんが「ここにあったで」と実を取り、さやを開けると中から数個の種が出てきて「豆出てきた」と、嬉しそうにBくんや保育者に伝えました。Bくん「ほんまや豆がある!」、保育者「豆あったね」と声を掛けると、A・Bくんはなっていた実を次から次へと手に取り、さやをむいていきました。Aくん「緑色の豆やね」、Bくん「僕のもこんなやで」と種を見せ合い、繰り返しさやを開けていくと、Aくんが開けたさやの中から緑色の種と一粒の黒っぽい種が出てきました。Aくん「黒い豆もあった!この豆(緑色の種)とちょっと違うね。豆ちがいや!」と伝え、保育者も「黒い豆だったね」と色の違いを確かめました。

しばらくの間、さやや種を集めていくと、今度は黒っぽいさやがあることに気付いたAくん。「皮ちがいや!」と笑みを浮かべながらBくんや保育者に見せました。保育者が「違う色の皮もあったね」と声を掛けると、見つけたさやを大切に集めたり、種をプラスチック容器に入れていました。

子どもの育ちや学び



豆出てきた
(驚き・気付き)

豆ちがいや!
(種の色の違いに気付き・
驚き・不思議さ)



皮ちがいや!
(さやの色の違いに気付き・
驚き・不思議さ)



- ・カラスノエンドウがある場所を考えて探したり、見つけたりする中で実のなり方に気付く。
- ・指先を使ってさやを開けたり、種を取り出したり、比べたりする。
- ・種やさやの色の違いに気付いたり、違いを言葉で表現したりする。

保育者の思い

- ・カラスノエンドウを探す子どもの姿があったので一緒に見つけたり、取りにくい場所になっているものは手に取れるように枝に実がついたまま集めたりしました。
- ・さやを集めたり、開けて種を取り出したりしたことで種やさやの色の違いに気付けたと思いました。その色の違いを「豆ちがい」「皮ちがい」という言葉で表現しているところに面白さを感じました。
- ・身近な自然に触れて遊ぶ中で春を感じたり、植物のなり方や色、形などに興味をもったりしてほしいと思い、カラスノエンドウに触れて遊ぶ子どもの姿を近くで見守りました。

家庭だったら・・・

遊びの中での子どもの興味や気付きを大切にしたいと思っています。つぶやきや表情などから子ども達が感じていることをお家の方もぜひ、感じたり受けとめたりしてみてくださいね。